

令和7年度
燕市教育行政評価結果報告書

目 次

I. はじめに

1. 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 教育行政評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 点検・評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 点検・評価の結果

【令和7年度評価対象事業】

1. 「令和7年度 評価対象事業一覧」・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 「コミュニティ・スクール推進事業」・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. 「校内教育支援センター事業」・・・・・・・・・・・・・・ 6
4. 「部活動の地域展開事業」・・・・・・・・・・・・・・ 8
5. 「文化会館自主事業」・・・・・・・・・・・・・・ 10
6. 「長善館史料館管理運営費」・・・・・・・・・・・・・・ 12
7. 「ゆめみらいスポーツ教室」・・・・・・・・・・・・・・ 14

【第3次燕市学校教育基本計画】

8. 「第3次燕市学校教育基本計画の評価」・・・・・・・・・・・・・・ 16

III. 教育委員会の事業一覧

1. 令和7年度に実施した主要事業一覧・・・・・・・・・・・・・・ 20

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1. 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
2. 総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
3. 教育委員の視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
4. 教育関係会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

I. はじめに

1. 点検・評価の目的

燕市教育委員会では、市民に信頼される公正で透明、簡素で効率的な教育行政の実現を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、毎年、主要な施策及び事務事業の取組状況について点検評価を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【第 3 次燕市総合計画※に掲げる基本方針及び施策】

戦略 1 定住人口戦略

基本方針 2 次代につなぐ教育の推進・子育て支援

施策 1 教育の充実

施策 2 子育て支援の充実

戦略 2 活動人口戦略

基本方針 1 いきいきと輝く健康づくり・生きがいづくり

施策 2 スポーツの推進

施策 3 生涯学習・文化活動の充実

※ 第 3 次燕市総合計画（抜粋）

「燕市教育大綱」は、教育立市宣言を基本目標とし、市の教育、学術および文化の振興に関する方針や施策を定めるものであり、総合計画における教育行政に関する内容がその方針や施策に該当するため、本計画をもって大綱に代えることとします。

2. 教育行政評価委員

(敬称略)

氏 名	役 職 等
委員長 尾 身 浩 光	会社役員 元新潟市立小瀬小学校長
副委員長 大 橋 和 明	元燕市立燕西小学校 PTA 会長
委 員 歌 代 佐知江	会社役員

3. 点検・評価の実施状況

令和7年度に実施した全ての予算事業とその上位目標である施策の中から、6事業について教育行政評価委員から選定していただき、評価を行っていただきました。

また、第3次燕市学校教育基本計画についても点検及び評価を行っていただきました。

開 催 日	出 席 者	委 員 会 内 容
令和8年 6月25日(木)	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、社会教育課長及び事務局職員8名	・事業評価作業 ・第3次燕市学校教育基本計画の評価作業
令和8年 7月23日(木)	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、社会教育課長及び事務局職員8名	・報告書の確認

Ⅱ. 点検・評価の結果

令和7年度 評価対象事業一覧

事業名	評価委員の評価
コミュニティ・ スクール推進事業	- 各学校でよい方向に進んでいる。さらに地域との協働を深められていくとよい。 - 地域との連携が重要である。引き続き地域と学校が一体となって進めていただきたい。
校内教育支援 センター事業	取組の成果がでているものとする。先進的な取組事例も参考にしながら、継続して取り組んでいただきたい。
部活動の地域展開 事業	- 引き続き課題を一つずつ解決して、段階的に進めてほしい。 - 学校ではない離れた場所での活動における生徒の安全と連絡手段等の確保に努めてほしい。
文化会館自主事業	- 本物の文化芸術に直接体験や触れることのできる、素晴らしい機会の提供ができていた。 - 様々な事業の活用も含め、さらに継続して企画、開催していただきたい。
長善館史料館管理 運営費	- 経済的な効果もみられる。今後は、利便性の向上も課題としてほしい。 - すでに取り組んでいる部分も想定されるが、学校との連携にも努めてほしい。
ゆめみらい スポーツ教室	- トップアスリートのこれまでの経験や成長過程などの夢や希望を与えるような構成も、一つの機会として提供できるとよいと考える。 - 燕市出身で活躍しているトップアスリートとも連携し、内容の充実を図りながら、引き続き実施していただきたい。

令和7年度 教育行政評価報告書

点検項目	コミュニティ・スクール推進事業
7年度達成目標	① 市内全ての公立小・中学校において学校運営協議会を開催し、教育活動や学校課題に関する熟議（話し合い）を具体的な実践活動へつなげる。 ② 学校運営協議会と、地域に根ざす学校応援団との協働・一体的な推進を図る。
目標の達成状況	① 市内全ての小・中学校（小中川小と燕北中は合同設置）において、学校運営協議会が年 3～4 回確実に開催された。各校の議事録やCS だより等により、話し合いに基づく具体的な教育活動の実践が確認できた。 ② 学校運営協議会と地域コーディネーターの連携体制は概ね進展している。一方で、学校運営協議会との日常的な関わり方や役割分担において、難しさや孤立感を感じている地域コーディネーターが存在しており、連携の質に差が見られる。
取組の概要	- 各校の学校運営協議会の年間予定を集約し、議事録やCS だより等の定期的な集約により活動状況を確認する。 - 地域連携研修会の拡充（年 2 回実施） - 第1回：CS 制度および地域学校協働活動の一体的な推進に関する基礎理解の促進。 - 第2回：他自治体の先進的な地域コーディネーターを講師に招聘し、具体的活動事例の紹介および情報交換会を実施。 - 地域コーディネーターと面談を実施し、現場の課題や要望を直接集約。
自己評価	- 研修対象者を、地域コーディネーターや学校担当者に加え、学校運営協議委員やCS 事務員（希望者）まで拡大した。これにより、コミュニティ・スクールの目指す方向性について共有が深まり、学校や協議会間の横のつながり（情報共有）を強化できた。 - 個別面談により地域コーディネーターの課題を把握し、学校との円滑な連携をはかった。また「地域コーディネーターの手引き」を新規作成し、翌年度の業務の標準化と活動環境の整備につなげた。

評価委員の評価	・各学校でよい方向に進んでいる。さらに地域との協働を深められていくとよい。 ・地域との連携が重要である。引き続き地域と学校が一体となって進めていただきたい。
今後の方向性	・地域コーディネーターへの支援強化 個別面談を継続するとともに、コーディネーター間の連携を進める。また「手引き」を活用し活動の標準化を図る ・地域と学校との協働性のさらなる深化 学校運営協議会での熟議を一層充実させていく。 ・地域連携研修会の充実と共通理解 研修対象者を拡大した地域連携研修会を継続し、地域と学校が一体となって目指す方向性の共有を深める。

【所管：学校教育課】

令和7年度 教育行政評価報告書

点検項目	校内教育支援センター事業
7年度達成目標	・希望する小学校に校内教育支援センターを設置し、指導員・支援員を配置する。 ・不登校傾向等の児童生徒が学校内で安心して過ごせる居場所を作ることにより、家に閉じこもることなく、規則正しい生活をし、社会的自立につながる支援を行う。
目標の達成状況	これまで中学校5校に設置してきたことに加え、希望した小学校11校すべてに校内教育支援センターを設置するとともに指導員・支援員を配置することができた。 教室に入ることに不安感を感じる児童生徒が安心して過ごす場所として、また心のエネルギーをためて教室に行く児童生徒のための居場所として機能している。
取組の概要	1 担当指導主事による訪問 ・スタートアップ訪問（4月） ・定期的な訪問（学期ごと） ・校長面談（学期ごと） 2 研修会の実施 ※対象者：小中学校校内教育支援センター指導員・支援員及び校外教育支援センター指導員 ・業務内容の確認及び情報交換（4月） ・外部講師による学習会及び情報交換（8月）
自己評価	・令和6年度、30日以上欠席児童が98名であったが、令和7年度は86名と減少している。 ・小学校では44名が通所し、令和6年度で不登校から校内教育支援センターに通所できるようになった児童7名、校内教育支援センターから自学級へ登校できるようになった児童15名であった。また、小中学校とも、教室には入れないが定期的に通所できる心の居場所として活用されている。 ・各校での取組紹介や情報共有、講師を招いた研修などを実施し、一人一人に寄り添った支援を推進していく。

評価委員の評価	・取組の成果が出ているものとする。先進的な取組事例も参考にしながら、継続して取り組んでいただきたい。
今後の方向性	・全小学校に校内教育支援センターを設置し、指導員・支援員を配置する。（令和８年度、全小中学校に設置済み） ・先進地を視察し、より実効性の高い支援体制の構築を図る。 ・引き続き不登校傾向等の児童生徒が、心の居場所として学校内で安心して過ごせる居場所を作り、家に閉じこもることなく、規則正しい生活を送り、社会的自立につながる支援を行う。

【所管：学校教育課】

令和7年度 教育行政評価報告書

点検項目	部活動の地域展開について
7年度達成目標	令和7年度は部活動改革推進期間最終年であり、これまでのスポーツに加えて文化活動も対象とする。未来いきいき地域クラブの活動日もすべての土日に拡大する。
目標の達成状況	8月までは令和6年9月から実施している活動（すべてのスポーツ月2回）を継続した。 9月からは吹奏楽部を除くすべての部活動を、すべての土日を活動休止日とした。そして、その部活動休止日を未来いきいき地域クラブの活動可能日とした。吹奏楽部については検討事項が多くあるため、他の部活動と同様の活動日として令和8年9月から未来いきいき地域クラブとして活動する予定である。
取組の概要	■未来いきいき地域クラブ数・所属人数について 令和8年3月31日現在、スポーツクラブは35クラブ、文化活動は5クラブの合計40クラブ。参加者はおよそ380人（燕市立中学校生徒数およそ1,730人【1年580人、2年560人、3年590人】） ・所属率は380人/1,140人・・・33% ※1・2年生 ・市内小中学生に3月に説明を行った。 ■指導者・クラブサポーター研修状況 7月に実施。2講座を実施し、新潟医療福祉大学の西原教授から1講座、斎藤コーディネーターより安全管理ガイドを基に1講座の研修を実施した。 研修会以外に3月に指導者の説明・交流会を実施し、この場で令和8年度の概要を説明した。 ■アプリ「b+」について 株式会社アーシャルデザインと契約をし、登録情報の集約、クラブ内などのメッセージの送受信、出欠、指導者の指導の日報、参加者の運営費の徴収などが1つのアプリで行えるようにした。

自己評価	令和 9 年 9 月の市内中学校すべての部活動の地域展開完了に向けて段階的に整備を進めてきた。令和 5 年度から進めてきたことで、一定の成果が挙げられていると考える。 令和 8 年度からは平日の活動が入り、活動形態がクラブ毎に多様化すると考えられるため、様々な試行、試案をしながら今までの取組を改善していくことが必要になると考えられる。
評価委員の評価	・引き続き課題を一つずつ解決して、段階的に進めてほしい。 ・学校ではない離れた場所での活動における生徒の安全と連絡手段等の確保に努めてほしい。
今後の方向性	・未来いきいき地域クラブの理念・目的をクラブ指導者と共有する場を設け、各クラブが適切な指導・運営を行うことができるように支援していく。 ・練習試合や大会等、通常の活動場所以外で活動を行う場合は、クラブ指導者から引率計画を教育委員会に提出してもらい、適切かどうか判断する。また、レンタカー等で移動する必要がある場合は、県の通知に準じ、クラブ指導者に安全チェックシートを提出してもらう。

【所管：学校教育課】

令和7年度 教育行政評価報告書

点検項目	文化会館自主事業
7年度達成目標	幅広い年齢層を対象とした自主事業を実施し、優れた舞台芸術作品の提供や市民参加型の舞台芸術の場の提供を図る。 自主的な文化活動を行う市民団体に対して助成を行う。
目標の達成状況	令和7年度は5つの自主事業公演を実施し、全ての来館者のうち満足度の項目で「大変良い」「良い」と回答した割合は96.5%となった。 新たに寄付を受けたグランドピアノを活用した自主事業「世界のピアノに触れてみよう～ベーゼンドルファー体験会～」を合計13日実施し、延べ62組の方から参加いただいた。
取組の概要	■自主事業公演 ・おかあさんといっしょ ファンターネ!とあそぼ 【令和7年6月14日(土)】(1,250名来場) ・市内小学校合同芸術鑑賞会「ミュージカルオズの魔法使い」 【令和7年6月24日(火)～26日(木)】(1,146名来場) ・立川談春独演会2025 【令和7年9月6日(土)】(636名来場) ・つばめ音楽祭(邦・洋楽) 【令和7年11月2日(日)】(350名来場) ・つばめ音楽祭(ロック&フォークフェスタ) 【令和7年11月24日(祝)】(207名) ■燕市文化活動支援助成金 ・【成果発表事業】 落語研究会「若きアマチュアの落語会ザ・ファイナル」(63,000円) ・【自主企画公演・展示事業】 飛燕太鼓保存会「飛燕太鼓保存会創立45周年記念公演」(300,000円)

自己評価	初めて実施した子育て世代向けの自主事業においては、全 2 回公演ともチケットは完売し、計 1,250 名の方から来館いただき、文化会館運営審議会の委員の皆様からも好評をいただいた。 また、「世界のピアノに触れてみよう～ベーゼンドルファー体験会～」では、利用者の少ない平日の大ホール利用者の増加につながった。
評価委員の評価	・本物の文化芸術に直接体験や触れることのできる、素晴らしい機会の提供ができていた。 ・様々な事業の活用も含め、さらに継続して企画、開催していただきたい。
今後の方向性	収益性も考慮しながら、引き続き、特定の年齢層に偏ることなく、幅広い年齢層を対象にした自主事業を実施していく。

【所管：社会教育課】

令和7年度 教育行政評価報告書

点検項目	長善館史料館管理運営費
7年度達成目標	長善館や歴代館主等の関係資料を展示公開（企画展を年4回開催）し、市民の長善館や郷土に関する認識を深めるとともに文化の向上を図る。 なお、燕市生涯学習推進計画には「長善館史料館の入館者数」の目標値として、令和13年度（計画最終年度）1,840人としている。
目標の達成状況	入館者は2,707人（うち企画展1,612人）と燕市生涯学習推進計画の最終年度目標値を超え、また、合併後過去最高入館者数となった。加えて、「粟生津しいら」とコラボしたイベント期間の入館者は、前年度比640%（327人→2,100人）となった。 また、長善館や歴代館主等の功績やその精神を後世に伝えることを目的に設立した長善館友の会との連携事業を行った。
取組の概要	①年4回企画展を開催 春の企画展「長善館の先進的教育と多才な門下生たちⅠ」184人（うち有料入館者134人、無料入館者50人） ・夏の企画展「長善館の先進的教育と多才な門下生たちⅡ」69人（うち有料入館者57人、無料入館者12人） ・秋の企画展「長善館の先進的教育と多才な門下生たちⅢ」1,187人（うち有料入館者1,078人、無料入館者109人） ・新春企画展「長善館の先進的教育と多才な門人たち」172人（うち有料入館者93人、無料入館者79人） ※「駅メモ！」シリーズのキャラクター「粟生津しいら」コラボイベント（9月19日から12月22日）として、デジタル版スタンプラリーの対象スポット、入館でノベルティ（缶バッジ）を進呈、館内にBIGパネルの展示を行った。 ②長善館友の会との連携 長善館に関する講演会、視察研修会（参加者17人）の開催
自己評価	コラボイベントの波及効果が想像以上に大きかった。効果が持続できるように、今後も関係部局と検討していきたい。また、長善館友の会は、設立から10年目を迎え、活動が定着している。

評価委員の評価	・経済的な効果もみられる。今後は、利便性の向上も課題としてほしい。 ・すでに取り組んでいる部分も想定されるが、学校との連携にも努めてほしい。
今後の方向性	・来館者の声などを参考に、利用しやすい史料館づくりに努めたい。 ・今後も学校や市で行っている事業とも連携を図っていきたい。

【所管：社会教育課】

令和7年度 教育行政評価報告書

点検項目	ゆめみらいスポーツ教室
7年度達成目標	子どもたちの未来に向かって夢や希望を与えるとともに、スポーツに取り組む意欲や競技力の向上を図る。
目標の達成状況	陸上 11/8(土)、9(日) 吉田総合体育館 参加者数 122人(小学生63人、中学生59人) 講師 ミズノトラッククラブ 飯塚翔太氏、ディーン元気氏、佐藤風雅氏、 竹内真弥氏、金井大旺氏 卓球 11/16(日) 分水総合体育館 参加者数 16人(小学生7人、中学生9人) 講師 ミズノアドバイザリースタッフ 藤沼亜衣氏、樋浦令子氏 剣道 12/20(土) 分水総合体育館武道場 参加者数 52人(小学生32人、中学生20人) 講師 末永真理氏
取組の概要	東京2020オリンピックのレガシーとしてオリンピック出場選手を招いたスポーツ教室事業。子どもたちにトップアスリートの技術を間近で感じ、スポーツにより親しんでもらうため、ミズノグループの協力によるスポーツ教室を開催している。
自己評価	例年行っている陸上に加え、卓球と剣道を初開催した。卓球については、市内小中学生の競技人口が少ないため、参加者数が他種目に比べ少なくなったが、その分、参加者は講師から個別指導を受けることができた。また、どの種目も世界レベルの技術に触れることができ、参加者の競技力向上の一助となったものと捉えている。
評価委員の評価	・トップアスリートのこれまでの経験や成長過程などの夢や希望を与えるような構成も、一つの機会として提供できるとよいと考える。 ・燕市出身で活躍しているトップアスリートとも連携し、内容の充実を図りながら、引き続き実施していただきたい。

今後の方向性	トップアスリートによる実技指導だけでなく、経験や考え方について、特定の競技に限らず多くの子どもたちが学びを得られる場の提供を検討する。また、燕市出身のトップアスリートを講師とした教室の開催を検討する。これにより、子どもたちが地域への関心や誇りを育みながらスポーツや学びに励むきっかけづくりを目指す。
--------	--

【所管：社会教育課】

第3次燕市学校教育基本計画の評価

～令和7年度の指標について～

目標1：豊かな心と健やかな体を育みます

■目標の達成状況

令和6年度と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

指標項目	出所	対象	基準値	R6	R7	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	88.6%	89.2%	→88.9%	90.0%	91.0%
		中学1～3年生	85.1%	88.2%	↑89.9%	87.0%	89.0%
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	96.8%	97.7%	→96.7%	100.0%	100.0%
		中学1～3年生	95.6%	97.0%	→96.7%	100.0%	100.0%
「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	83.5%	84.0%	↓82.8%	85.0%	87.0%
		中学1～3年生	78.1%	79.2%	→79.3%	80.0%	82.0%

目標2：多様性を認め合い、生涯にわたって学び続ける力を育みます

令和6年度と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

■目標の達成状況

指標項目	出所	対象	基準値	R6	R7	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	81.0%	78.3%	→78.7%	83.0%	85.0%
		中学1～3年生	88.9%	83.2%	→82.4%	90.0%	91.0%
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	86.7%	85.3%	→85.9%	88.0%	90.0%
		中学1～3年生	92.8%	89.5%	→89.0%	93.0%	94.0%
教研式標準学力検査NRT偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数（国語、数学、英語）※中学1年生の英語を除く全8教科	教研式標準学力検査NRT	中学1～3年生	3教科	0教科	→1教科	6教科	8教科
「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	88.9%	87.6%	→86.7%	90.0%	91.0%
		中学1～3年生	89.3%	87.1%	→87.9%	90.0%	91.0%

目標3：「ふるさと燕」に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する志を育みます

令和6年度と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

■目標の達成状況

指標項目	出所	対象	基準値	R6	R7	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	79.0%	76.6%	↓74.2%	81.0%	83.0%
		中学1～3年生	73.4%	69.0%	→68.3%	75.0%	77.0%
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	95.7%	96.6%	→96.1%	96.0%	97.0%
		中学1～3年生	97.2%	96.3%	→96.8%	98.0%	99.0%
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	71.8%	78.4%	↓73.8%	73.0%	75.0%
		中学1～3年生	51.8%	49.9%	↑53.2%	53.0%	55.0%

目標4：学校・家庭・地域の連携を強化し、子供たちの学びや育ちを支えます

令和6年度と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

■目標の達成状況

指標項目	出所	対象	基準値	R6	R7	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
子どもの成長に係る諸課題に対して、保護者とともに研修する機会を設けた学校数	学校教育課調べ	学校	17校	13校	↑17校	18校	19校
地域と連携してSDGs等の取組を実施している学校数	学校教育課調べ	学校	15校	13校	→14校	17校	19校
学校支援ボランティア活動のべ回数	地域に根差す学校応援団事業報告書	地域・保護者	2,400回	2,567回	↓2,474回	2,500回	2,600回

目標5：信頼される学校づくりを推進します。

■目標の達成状況

令和6年度と比較し、1を上回る向上は↑、1を下回る下降は↓、
同等（±1以下）は→

指標項目	出所	対象	基準値	R6	R7	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
「個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的、継続的に参加している」と回答した教職員の割合	学校教育課調べ	教職員	63.6%	73.6%	↓ 64.8%	65.0%	67.0%
学校を信頼して子どもを通わせることができている」と回答した保護者の割合	学校教育課調べ	小学校保護者	96.9%	95.5%	→ 96.2%	97.0%	98.0%
		中学校保護者	92.9%	92.1%	↑ 93.4%	93.0%	94.0%
前年度と比べて子どもと向き合う時間が増えた」と回答した教職員の割合	学校教育課調べ	教職員	67.6%	76.3%	↓ 73.9%	69.0%	71.0%

<評価委員の評価>

- ・教員の負担軽減も図りながら、学校、家庭、地域が一体となった教育活動の推進、良好な関係づくりに取り組んでいただきたい。
- ・専門性を高めることも重要であるが、人間性豊かな教員育成につながる研修や養成も目指していただきたい。

<今後の方向性>

- ・人間性や専門性を高める研修を充実させつつ、業務改善により子どもと向き合う時間を確保する。
- ・指導主事による伴走支援を行い、授業改善と学力向上を促す。

Ⅲ. 教育委員会の事業一覧

1. 令和7年度に実施した主要事業一覧

学校教育課		
No	主要事業名	事業の概要
1	児童クラブ運営事業	就労等により、保護者が日中家にいない小学生に遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者支援を行いました（公立児童クラブ：25カ所、在籍児童数1,092人（令和8年3月31日現在））。なお、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和6年度比で59,254千円の増となりました。
2	子どもの居場所整備事業	B&G財団の助成金を活用し、大関小学校区に児童クラブの機能をもつ子どもの居場所の整備を行いました。
3	つばめみなみ児童クラブ拡張事業	つばめみなみ児童クラブ(燕南小学校内)の占有スペースの確保のため、拡張工事を行いました。
4	私立児童クラブ光熱費等支援事業	光熱費等の高騰の影響を受けている私立児童クラブに対し、経済的負担を軽減し、サービスの質の確保と業務継続を支援するため、緊急的な措置として、燕市保育園等光熱費等支援金を支給しました。 支給件数：3件
5	なかまの会管理運営費	児童クラブが設置されていない小学校区において、放課後の子どもの居場所づくりを目的として、2カ所のなかまの会の運営を行いました（登録児童数129人：延べ14,968人）なお、松長のなかまの会を廃止しましたが、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和6年度比で2,221千円の減となりました。
6	Jack & Bettyプロジェクト	外国語指導助手（ALT）3人、日本人英語指導員助手（JTE）5人を配置し、保育園・こども園から小中学校まで、一貫した英語教育を行いました。 また、Jack & Betty教室に加え、英語スピーチコンテスト、Jack & Betty 体験教室を実施したほか、前年度に親善大使に決定した生徒を姉妹都市のアメリカ合衆国シェボイガン市へ派遣しました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善及び海外派遣事業の親善大使の人数を5名増としたため、令和6年度比で2,671千円の増となりました。
7	特別支援学校就学援助事業	市内在住の盲・聾・特別支援学校に通学する児童生徒の保護者を対象に、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。 また、県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター（はばたき）から学校までの送迎を行いました。 最低賃金の上昇による送迎バス運転業務委託費の増額により令和6年度比で2,264千円の増となりました。
8	奨学金貸付事業	経済的理由により就学が困難な修学意欲のある学生や生徒を対象に、教育の機会均等と人材育成を図るため、奨学金の貸与を行いました。 なお、例年に比べ新規の貸与決定者が多かったため、令和6年度比で13,189千円の増となりました。 【貸付者数及び貸付額】 ・奨学金貸付金 156人 70,500千円
9	学校教育管理費	教職員用パソコンの配置や校務支援システムの運用等により教職員の校務効率化を図るため、県内統一の校務支援システムを導入しました。 また、いじめ、不登校、虐待など、子どもたちを取り巻く問題が複雑・多様化している学校現場において、弁護士からの支援を受けることを目的にスクールロイヤー業務を引き続き委託しました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善や教職員用パソコンの入替、統合型校務支援システム導入等により、令和6年度比で35,314千円の増となりました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
10	地域に根ざす学校応援団事業	学校・家庭・地域が一体となって、児童生徒の健やかな成長や地域全体の教育力向上を図るため、地域コーディネーターと連携し、「地域に作られた学校の応援団」として参加する学校ボランティアを地域住民に呼びかけました。また、地域ボランティアの協力のもと、「放課後等の学習支援活動」を実施しました。 【補助学校数及び補助額】 19校 4,190千円
11	ICT教育推進事業	令和2年度に整備した1人1台端末の更新を行いました。また、GIGAスクール運営支援センターやICT支援員による学校支援やICT環境の整備、ICT機器の修繕等に取り組みました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善及び1人1台端末の入替等により、令和6年度比で280,075千円の増となりました。
12	燕ジュニア検定事業	児童を対象に、燕市の歴史や文化等を楽しく学び、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集（令和4年度改訂）」を活用し、各小学校で燕長善タイム等の時間を利用した学習を行いました。 また、学校で1人1台配付されているタブレットを用いて検定を行い、市内小学生3,041人が受検しました。
13	子ども夢づくり事業	子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場する際の遠征費補助を行いました。 なお、令和6年度比で、団体競技の申請件数が17人減少したことにより、補助額960千円の減となりました。 【補助件数及び補助額】 ・小学生 70件 2,140千円 ・中学生 19件 588千円
14	長善館学習塾事業	市内の小学5・6年生を対象に、南魚沼市での宿泊体験や市内でのお仕事体験を実施し、課題解決能力やチームワーク、郷土愛を育みました。
15	広島平和記念式典派遣事業	非核平和宣言推進事業及び平和学習活動事業の一環として、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて理解できる生徒を育成するため、市内の中学生を広島平和記念式典に派遣しました。
16	笑顔で入学支援事業	市内の小学校12校において入学予定児童の保護者を対象に、入学に対する不安解消や心構えなど、入学を円滑にする支援としてリーフレットの配布や講演会を実施しました。
17	燕ミライトークセッション	市内中学校の生徒を対象に、自分と向き合うこと、視野を広げること、他者に働きかけることをテーマに、元新潟アルビレックスBB選手の佐藤公威さんと三条ビーターズ選手のバガンブーラ光シキラ・ジョイスさんを講師に、新潟医療福祉大学の堀里也さんをコーディネーターとして招き、講演会とワークショップを行いました。86人の中学生が参加しました。
18	学校図書館充実事業	計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境の整備に取り組みしました。また、学校図書館管理システムを活用して蔵書管理を行うとともに、学校図書館司書の配置により、各学校図書館の運営をサポートしました。なお、寄附金を活用して書架やスツール等を購入し、学校図書館の環境整備を進めたこと等により、令和6年度比で1,472千円の増となりました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
19	羽ばたけつばくろ応援事業	若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画に対する支援を行いました。 なお、企画活動等の申請者が減少したことにより、令和6年度比で申請数は3件減、補助額1,242千円の減額。海外派遣親善大使としての活動は令和6年度比で申請数が3件増、補助額は600千円の増となり、事業としては、642千円の減額となりました。 【補助件数及び補助額】 羽ばたけ：団体：9件 915千円 親善大使：3件、600千円
20	つばめキッズファーム事業	市内の小学校14校を対象に、児童が農業の収穫の喜びを体験することで、児童を取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、自分の住んでいる地域を知るための機会を設けること等を目的に各校へ補助金を交付しました。 【補助学校数及び補助額】 14校 1,239千円
21	Good Job つばめ推進事業	生徒がふるさとへの愛着や誇りを持ち、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育むため、3日間の職場体験と、各1日のキャリア教育講演会及びマナー講習会の実施を行いました。また、小学生を対象にこどもシゴト博を開催しました。
22	高校とともに創る輝く人材育成事業	平成29年3月29日に県へ提出した「燕市内の県立高校の特色化に関する提案書」に基づき、吉田高校と分水高校の特色ある学校づくりを支援することにより、燕市の将来を担う人材の育成に努めました。
23	入学準備金貸付事業	高校や専修学校、大学等への入学に際し、経済的理由により就学が困難な者の保護者等を対象に、必要となる資金の一部を入学準備金として貸し付け、教育の機会均等を図りました。 なお、貸付決定者数が少なかったため、令和6年度比で1,200千円の減となりました。 【貸付者数及び貸付額】 ・入学準備金貸付金 1人 150千円
24	燕ロボット・プログラミング教室事業	小型自律動作ロボットを用いた「つばくろロボキッズ教室（全12回）」を実施し、小学3年から6年生19人、中学生3人が参加したほか、学校への教材の貸出を行うなどプログラミング学習の充実に取り組みました。また、WRO Japan 公認新潟予選会に5チームが出場し、中学生部門で1位となり、全国大会で金賞及び最優秀プレゼン賞を受賞しました。 なお、令和6年度にロボットの更新作業が完了したため、令和6年度比で1,619千円の減となりました。
25	情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト	生涯にわたって学び続けるための土台となる「読解力」を育成する視点で、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善に取り組みました。また、リーディングスキルテストのほか、認知能力を高めることを目的とした「コグトレオンライン」を継続し、認知機能の強化に努めました。
26	コミュニティ・スクール推進事業	市内全ての公立小・中学校において学校運営協議会を開催し、教育活動や学校課題に関する熟議（話し合い）を具体的な実践活動へつなげることができました。 また、学校運営協議会と、地域に根ざす学校応援団との協働・一体的な推進に努めました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
27	STEAM教育推進モデル事業	STEAM教育の導入に向けたモデル事業を、民間企業との協働により実施しました。燕中学校をモデル校とし、PC教室だった場所を「つばくろLab」とし、令和5年度に導入した3Dプリンター・レーザーカッター等の機器を活用し、STEAM教育の推進に努めました。
28	子どもを育む推進事業	中学校区単位で絆スクール集会を実施し、いじめ見逃しゼロに対する意識の高揚を図りました。また、いじめ防止対策等専門委員会を開催し、「燕市いじめ防止基本方針」の一部改定について協議を行いました。 なお、市内全中学校を対象に実施している鑑賞劇の実施年度ではなかったため、令和6年度比で4,598千円の減となりました。
29	教育指導費	児童生徒の基礎学力の定着度を把握し、指導方法の改善を図るための学力検査（NRT）を実施しました。 また、全校に教育指導事業費補助金を交付し、よりよい学校づくり、学級づくりを行えるよう、各校の状況に応じた取組を推進しました。さらに、心理士を配置し、就学児童、学級の中で特性のある子の心理検査を行い認知の状況を把握し、指導に生かしました。 なお、令和6年度に小中学校の教科書改訂に伴う教師用指導書、デジタル教科書の購入を行ったため、令和6年度比で26,524千円の減となりました。
30	学習支援充実事業	小・中学校12校に学習支援員を配置し、各学校においてきめ細かな学習指導や特別活動、生活指導等を行うことにより児童生徒の健全育成を推進しました。
31	小中学校教職員研修事業	教職員としての資質・能力（授業力、生徒指導力、学級経営力等）の向上を図るため、教職員を対象に各種研修を実施しました。
32	学校不応・ひきこもり相談事業	悩みを抱えた小学生から39歳までの子どもや若者、その保護者からの不登校をはじめとした様々な相談に、電話、面談、訪問、メールで対応し、解決に向けた支援を行いました。（相談件数：193件）
33	スクールソーシャルワーカー等派遣事業	児童生徒が抱えている様々な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関、教職員等への支援を行い、問題の解決を図りました。
34	校外教育支援センター事業	学校に行くことができない児童生徒のため、市内3カ所に校外教育支援センターを設置し、スタッフが個人の状況に合わせた学習や自主活動を行い、社会的自立の支援を行いました。
35	校内教育支援センター事業	学校に登校できても教室に入りづらい生徒を対象に、各中学校へ学習支援を目的に教育支援センター指導員を配置し、生徒へ学習機会の提供や社会的自立の支援を行いました。 令和7年度より小学校11校に、校内教育支援センターを新たに設置し、教育支援センター指導員または支援員を配置し、児童へ学習機会の提供や社会的自立の支援を行いました。 なお、小学校11校へ新たに教育支援センター指導員、支援員を配置したこと等により、令和6年度比で6,776千円の増となりました。
36	言語・発達障がい通級指導教室運営費	発達の特性に応じて児童生徒が積極的に学校生活を営むことができるよう、言語通級指導教室（燕西小・吉田小・分水小）・発達通級指導教室（燕西小・小中川小・吉田小・吉田南小・分水小・燕中・吉田中）で専門的な指導を行いました。 また、令和8年度から燕南小に発達通級指導教室を開設するための備品等の購入を行いました。 なお、令和7年度開室の4教室の整備を令和6年度に行ったため、令和6年度比で3,553千円の減となりました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
37	教育センター運営費	教育関係職員等の研修などを実施する教育センター施設の管理運営を行いました。
38	科学教育推進事業	燕・弥彦科学教育センターと連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで児童生徒、教師や市民の科学に対する意識向上を図りました。
39	学校管理費	小学校の運営のため、学校備品等の購入や学校介助員の配置などを行いました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和6年度比で30,191千円の増となりました。
40	遠距離通学支援事業	遠距離通学児童を対象にスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区に助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。 なお、燃料費高騰や人件費の増額等によりバス運行に係る経費が増額したため、令和6年度比で2,286千円の増となりました。
41	分水地区小学校の今後の在り方検討事業	分水北小学校と島上小学校で、今後、複式学級が生じる見込みであり、各校区に「燕市立学校の在り方検討委員会」を設置し、統合することが望ましいとする旨の意見書を市教育委員会に提出しました。
42	教育振興費	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者等を対象に、小学校でかかる費用の一部を助成しました。
43	理科教育等設備整備事業（小学校費）	児童に科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。 なお、令和7年度は学校からの購入要望が多く、計画書に基づき必要な備品を整えたため、令和6年度比で426千円の増となりました。
44	校外学習等実施費	市内小学校の校外学習・屋内プール施設を利用した水泳授業の送迎に係るマイクロバス等の運転業務の委託、観光バスの借上等を行いました。
45	小学校整備事業	吉田南小学校GHP-1コンプレッサー修理工事（1,998千円）や燕西小学校電話設備更新工事（1,299千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。
46	小学校プール解体・駐車場等整備事業	老朽化により使用を停止したプールの解体と跡地の駐車場等整備を進めるため、大関小学校の工事、燕北小学校の設計を行いました。 なお、令和7年度は設計・監理・工事ともに校数が減ったことから、令和6年度比で28,093千円の減となりました。
47	旧燕東幼稚園解体・駐車場等整備事業[明許緑越]	閉園した旧燕東幼稚園の跡地を有効に活用するため、施設の解体と駐車場等整備工事を行いました。
48	小学校校舎照明器具LED化事業[明許緑越]	令和9年末までに蛍光灯の生産終了が見込まれるため、栗生津・吉田北小学校の校舎照明のLED化を行いました。
49	燕南小学校屋内運動場外装等改修事業[明許緑越]	建設から26年が経過し、雨漏りや外壁のひび割れなどの劣化が進んでいる屋内運動場を改修するため、外壁や屋根、建具、電気設備、機械設備等について、改修を行いました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
50	学校管理費	中学校の運営のため、学校備品等の購入や学校介助員の配置などを行いました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和6年度比で2,245千円の増となりました。
51	遠距離通学支援事業	遠距離通学生徒を対象にスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区に助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。
52	教育振興費	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者及び中学校の特別支援学級に在籍している生徒の保護者等を対象に、中学校でかかる費用の一部を助成しました。
53	理科教育等設備整備事業 (中学校費)	生徒に科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。 なお、令和7年度は学校からの購入要望が多く、計画書に基づき必要な備品を整えたため、令和6年度比で259千円の増となりました。
54	部活動外部人材活用事業	市内中学校の部活動に対して、専門的な技術指導力を有する指導者を外部人材活用事業として23人を派遣し、部活動の振興と地域社会との連携を促進しました。 なお、部活動の地域展開により、部活動の実施回数が減り、それに伴い部活動指導員の勤務も減少したため、令和6年度比で507千円の減となりました。
55	部活動の地域展開事業	国の指針に基づき、部活動の段階的な地域移行を進めました。部活動地域移行総括コーディネーター及びコーディネーターを配置し、指導者や参加者、学校等関係者の調整を図りました。令和7年9月からは、すべてのスポーツ活動と吹奏楽を除くすべての文化活動において、すべての土日を対象として、活動を行いました。また、「燕市未来いきいき地域クラブ検討委員会」を設置し、今後の方策等について議論を行いました。 なお、対象の拡充に伴い、指導者やサポーターが増員となったため、令和6年度比で6,840千円の増となりました。
56	校外学習等実施費	市内中学校の校外学習に係るマイクロバス等の運転業務の委託を行いました。
57	中学校整備事業	燕北中学校放送卓改修工事（1,999千円）や分水中学校電話設備更新工事（1,205千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。 令和7年度は、小池中学校以外の学校では、規模の大きい工事が少なかったため、令和6年度比で12,087千円の減となりました。
58	中学校冷暖房設備改修事業	設置から19年が経過している分水中学校の冷暖房設備について、交換部品の生産が終了することから、冷暖房設備を更新するための工事を行いました。
59	小池中学校長寿命化改良事業[明許繰越]	内外装の劣化・損傷、設備機器の故障及び配線配管類の劣化が進んでいる小池中学校の長寿命化改良の工事を行いました。
60	中学校冷暖房設備改修事業[明許繰越]	設置から17年が経過している燕中学校の冷暖房設備について、交換部品の生産が終了することから、冷暖房設備を更新するための設計を行いました。
61	中学校校舎照明器具LED化事業[明許繰越]	令和9年末までに蛍光灯の生産終了が見込まれるため、燕北中学校の校舎照明のLED化を行いました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
62	学校衛生管理費	児童生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や学校環境衛生検査を実施するなど、保健衛生面から教育環境の整備・充実を図りました。
63	給食センター管理運営費	市内小中学校の児童生徒に、東部学校給食センター（燕地区）及び西部学校給食センター（吉田地区・分水地区）で調理した学校給食を提供しました。また、食材費が高騰する中、給食の質を保ちながら、子育て世帯の経済的な負担が増加しないよう学校給食会計に補助しました。（69,534千円） 子育て世帯応援学校給食費補助金の増額により、令和6年度比で21,926千円の増となりました。 ・年間食数（小学校711,864食、中学校389,784食） ・給食1食当たりの保護者負担額（小学校275円、中学校320円） ・平均給食回数（小学校約191回、中学校約192回）

社会教育課

No	主要事業名	事業の概要
64	勤労青少年ホーム（夢中館）管理運営費	勤労青少年ホーム（夢中館）の管理運営を行いました。
65	生涯学習推進費	第3次燕市生涯学習推進計画（令和6年度～令和13年度）の進捗管理を行うため、事業実績等について燕市生涯学習推進協議会を開催し協議・報告しました。 また、生涯学習人材バンクの登録・活用の促進を図るとともに、生涯学習情報の提供に努めました。
66	社会教育総務費	社会教育行政にかかる社会教育委員の会議（2回）を開催しました。また、新潟県社会教育連絡協議会が開催する研修会に参加しました。
67	20歳記念事業	20歳の門出を祝う「二十歳のつどい」を開催しました。
68	中央公民館管理運営費	中央公民館の管理運営を行いました。 令和7年度は会計年度任用職員の処遇改善や消雪パイプ更新工事等により、令和6年度比で8,493千円の増となりました。
69	中央公民館事業	青少年や成人、高齢者などの幅広い年齢層を対象に市民教養講座、つばめ目耕塾、燕大学、子ども体験講座などの講座を開催しました。 令和7年度は会計年度任用職員の処遇改善等により、令和6年度比で189千円の増となりました。
70	地区公民館管理運営費	吉田公民館・分水公民館の管理運営を行いました。 令和7年度は分水公民館が改修工事により休館していたこと等により令和6年度比で14,887千円の減となりました。
71	地区公民館事業	各地区公民館で利用団体の育成と発表の場として、文化祭を行うとともに、成人や青少年を対象として講座を行いました。 令和7年度は分水公民館が改修工事により休館していたこと等により、令和6年度比で466千円の減となりました。

社会教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
72	分館管理運営費	中央公民館の5分館の管理運営を行いました。また、中央公民館の3分館、吉田公民館の2分館の指定管理業務委託を行いました。 なお、人件費の上昇等により指定管理委託料が増加したことや、西燕公民館解体工事の設計を行ったこと等により、令和6年度比で9,355千円の増となりました。
73	分館事業	中央公民館の5分館において、各種教室や文化祭などの地域に密着した事業を行いました。
74	市民交流センター管理運営費	市民交流センターの管理運営を行いました。 令和7年度はエレベーターの故障修繕や、駐車場の白線引き直し及び外灯の更新を行ったこと等により、令和6年度比で4,628千円の増となりました。
75	分水公民館改修事業	老朽化した分水公民館の改修工事を行いました。 令和6年度は設計のみであったことから、令和6年度比で1,113,729千円の増となりました。
76	松長公民館改修事業	雨水の吹き込みやサッシの傷みが顕著な松長公民館の外壁を中心とした長寿命化改修工事を行いました。 令和6年度は設計のみであったことから、令和6年度比で63,594千円の増となりました。
77	燕庁舎学習室整備事業	燕庁舎2階の燕・弥彦総合事務組合（水道局）事務室の移転に伴い空き室となったスペースを活用し、学習室を整備しました。 12月15日からオープンし、学習室の管理運営を行いました。
78	吉田ふれあいセンター管理運営費	吉田ふれあいセンターの管理運営を行いました。 令和7年度は会計年度任用職員の処遇改善や光熱水費等の高騰等により、令和6年度比で733千円の増となりました。
79	図書館管理運営費	市内3図書館の指定管理業務委託を行ったほか、図書館協議会を開催しました。 令和7年度は人件費の上昇や光熱水費等の高騰等で指定管理委託料が増加したこと等から、令和6年度比で3,062千円の増となりました。
80	青少年育成センター事業	街頭補導活動など青少年健全育成のための事業を行いました。また、若者就労支援事業を三条地域若者サポートステーションに委託し、市内での出張相談、職場見学、ジョブトレーニング、各種セミナーなどを行いました。
81	文化会館管理運営費	文化会館の管理運営を行いました。また、文化会館運営審議会（2回）を開催し、文化会館の自主事業や利用状況等について協議しました。
82	文化会館自主事業	ファミリー向け公演や市内小学校の5・6年生を対象とした合同芸術鑑賞会など6事業を開催しました。 予定していた自衛隊音楽コンサートの日程調整ができず、令和8年度に繰り越したことなどにより、令和6年度比で4,849千円の減となりました。
83	分水良寛史料館管理運営費	良寛遺墨や良寛ゆかりの人物の作品・資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催しました。

社会教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
84	長善館史料館管理運営費	長善館の功績を伝えるための資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催しました。
85	新分水良寛史料館基本構想策定事業	分水良寛史料館の移転整備に係る基本的な方向性を示す基本構想を策定するため、委員会を立ち上げ、2回の検討委員会を開催しました。
86	文化財保護事業	文化財収蔵庫の維持管理を行うとともに、市指定文化財保護のための環境整備等を行いました。 なお、歴史的建造物総合調査等がなかったことにより、令和6年度比で2,667千円の減となりました。
87	埋蔵文化財事業	信濃川大河津分水路改修（河川大規模災害関連）事業に伴う石港遺跡発掘調査〔明許線越〕をはじめ、市内遺跡の発掘調査や各種工事の立ち会いなど、埋蔵文化財の保護を行いました。
88	埋蔵文化財事業〔明許線越〕	また、夏休み子ども考古学教室・遺跡出土品展のほか、発掘調査中の遺跡については現地説明会を開催するなど、埋蔵文化財の公開活用に努めました。 なお、発掘調査箇所の種類や規模の違いにより、令和6年度比で284,090千円の増となりました。
89	文化振興事業	燕市美術展覧会や良寛書道展、つばめっ子かるた大会の開催、文化団体に対する活動支援や、「郷土史燕」、「文芸つばめ」を刊行しました。 なお、合併20周年記念事業として「つばめトランプ」を製作したこと等により、令和6年度比で1,385千円の増となりました。
90	基金積立金	文化財の保護等を目的として令和6年度から継続して「自治体クラウドファンディング」で集まった寄附金を「燕市文化財保護振興基金」に積み立てました。
91	水道の塔保存活用事業	国登録有形文化財である燕市旧浄水場配水塔について、外壁の剥落を防止するための改修工事を行うために作成した保存活用計画を基に、基本設計及び実施設計を行いました。これにより、令和6年度比で2,288千円の増となりました。
92	体育振興費	燕市スポーツ協会と燕市スポーツ少年団の活動を支援するとともに、スポーツ推進委員との連携により、地域スポーツの振興に努めました。
93	生涯スポーツ振興費	燕さくらマラソン大会やつばめスポーツキッズフェスタ、健康づくり教室、各種スポーツ大会を開催し、生涯スポーツの振興に努めました。 なお、燕さくらマラソン大会に係るシャトルバス利用者の増加や原材料費高騰による会場設営、看板製作・設置に係る経費の増加等により、令和6年度比で434千円の増となりました。
94	東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業	東京ヤクルトスワローズと縁の深い4都市（燕市、松山市、浦添市、西都市）の交流事業として、第13回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会が愛媛県松山市で開催され、予選を勝ち上がった吉小キッズを派遣しました。
95	ゆめみらいスポーツ教室	東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、オリンピック等を講師に招き、小中学生向けに夢や希望を与えるスポーツ教室（陸上、卓球、剣道）を開催しました。

社会教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
96	体育施設管理運営費	燕体育センターほか24体育施設の指定管理業務委託を行うとともに、燕北多目的武道場、分水プールの施設管理を行いました。 なお、ビジョンよしだの受変電設備改修工事等を行ったほか、燕勤労者体育センターの用地を購入したことにより、令和6年度比で85,025千円の増となりました。
97	三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費	三条・燕総合グラウンドの管理運営を三条市と共同で行いました。 なお、令和6年度に行った日本陸上競技連盟4種ライト公認更新のための改修工事や作業車両の更新などが完了したことより、令和6年度比で3,909千円の減となりました。
98	B & G海洋センター移転改築事業	B&G海洋センターの移転建設工事を行いました。 なお、令和6年度は実施設計業務や建設地のちびっ子広場解体工事の一部のみ実施したため、令和6年度比で491,662千円の増となりました。
99	サッカー場整備事業	人工芝多目的サッカーコートの実設計業務を行いました。 なお、令和6年度は整備予定地の測量業務のみ実施したため、令和6年度比で9,522千円の増となりました。
100	ジムナスト分水空調設備等整備事業	ジムナスト分水に中学校体育館に導入した移動式エアコンと同様のスポットエアコン（壁掛け式）3台を設置するとともに、照明設備のLED化工事を行いました。
101	吉田武道館空調設備等整備事業	吉田武道館に中学校体育館に導入した移動式エアコンと同様のスポットエアコン（壁掛け式）5台（柔道場2台、剣道場3台）を設置するとともに、照明設備のLED化工事を行いました。
102	B & G海洋センター改築事業[明許繰越]	令和6年度に引き続き、B&G海洋センター建設地のちびっ子広場解体工事を行いました。
103	開放施設管理費	市内小中学校の体育館およびグラウンドの一般開放を行いました。

Ⅳ. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1 教育委員会の会議

●4月定例教育委員会【令和7年4月25日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 2 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第15号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第16号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第17号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

議案第18号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第19号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

その他：（１）「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について

●5月定例教育委員会【令和7年5月22日（木）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 4 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 3 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第20号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

その他：（１）「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について

●6月定例教育委員会【令和7年6月30日（月）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 5 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 4 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第21号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

その他：（１）令和7年第2回燕市議会定例会（教育委員会抜粋）

1）契約の締結について

（Ｂ＆Ｇ海洋センター移転建設工事（建築）、（機械設備））

2）一般質問の概要について

●7月定例教育委員会【令和7年7月25日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 6 号 共催・後援の教育長専決報告について

その他：（１）「燕市環境審議会」への委員の推薦について

●8月定例教育委員会【令和7年8月25日（月）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 7 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 5 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第22号 分水良寛史料館移転整備に係る基本構想検討委員会設置要綱
の新規制定について

●9月定例教育委員会【令和7年9月29日（月）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 8 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 6 号 新規共催・後援申請について

その他：（１）令和7年第3回燕市議会定例会（教育委員会抜粋）

1）一般質問の概要について

●10月定例教育委員会【令和7年10月30日（木）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

報 告：報告第 9 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 7 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第24号 施設名称の適正化に伴う関係規則の整備に関する規則の制定
について

●11月定例教育委員会【令和7年11月21日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 8 号 新規共催・後援申請について

●12月定例会教育委員会【令和7年12月25日（木）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

協議題：協議第11号 新規共催・後援申請について

その他：（１）令和7年第4回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1）一般質問の概要について

●1月定例会教育委員会【令和8年1月26日（月）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

報告：報告第1号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第1号 新規共催・後援申請について

議案：議案第1号 燕市立児童クラブ実施時間延長事業実施要綱の一部改正について

その他：（１）令和7年度 学校給食喫食量調査及びアンケート調査について

（２）分水北小学校および島上小学校の今後の在り方に関する意見報告について

●2月定例会教育委員会【令和8年2月20日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報告：報告第2号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第4号 分水北小学校および島上小学校の今後の在り方に関する方針について（案）

協議第5号 「燕市いじめ防止基本方針」の一部改定について

協議第6号 新規共催・後援申請について

議案：議案第2号 燕市教育委員会附属機関の委員の報酬に関する要綱の一部改正について

議案第3号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について

議案第5号 分水北小学校および島上小学校の今後の在り方に関する方針について

その他：（１）教員の業務量の適切な管理と健康等を確保するための措置を実施するための計画の策定等について（案）

●3月定例教育委員会【令和8年3月27日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 7 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 6 号 燕市学校管理運営に関する規則の一部改正について

議案第 7 号 燕市学校運営協議会規則の一部改正について

議案第 8 号 燕市コミュニティセンター条例施行規則の新規制定について

議案第 9 号 燕市公民館条例施行規則の一部改正について

議案第10号 燕市青少年育成センター条例施行規則の廃止について

議案第11号 燕市青少年育成センター運営協議会規則の廃止について

議案第12号 燕市認定地域クラブの認定に関する要綱の新規制定について

議案第13号 燕市校外教育支援センター設置要綱の一部改正について

議案第14号 燕市子どもを育む推進協議会要綱の一部改正について

議案第15号 燕市なかまの会要綱の一部改正について

議案第16号 燕市教育委員会附属機関の委員の報酬に関する要綱の一部改正について

議案第17号 燕市指定文化財の指定について

議案第18号 燕市教育委員会文書取扱規程の新規制定について

議案第19号 燕市教育委員会処務規程の一部改正について

議案第20号 燕市教育委員会事務決裁規程の一部改正について

議案第21号 燕市教育委員会公印規程の一部改正について

議案第22号 燕市立学校教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について

その他：（１）令和8年第1回燕市議会定例会（教育委員会抜粋）

1）令和8年度燕市一般会計補正予算（第1号）

2）一般質問の概要について

（２）燕市非常変災等臨時休業給食費補助金交付要綱の廃止について

（３）燕市子育て世帯応援学校給食費補助金交付要綱の廃止について

（４）燕市全国大会出場選手等激励金交付要綱の制定について

（５）燕市青少年問題協議会規則の廃止について

（６）燕市附属機関の委員の報酬に関する要綱の一部改正について

2 総合教育会議

●令和7年度 燕市総合教育会議【令和8年2月20日（金）】

意見交換：市長の教育に関する方針

報 告：燕市立学校教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

3 教育委員の視察

開催日	視察先	視察内容
4月25日（金）	小中川児童クラブ	移転後の放課後児童クラブの運営を視察
	児童クラブメート	
7月25日（金）	うさぎもちハレラテつばめ	施設館内等を視察
1月26日（月）	小池中学校 長寿命化改良工事	工事現場・進捗状況を視察
	東部学校給食センター	施設概要の説明、給食の試食会

4 教育関係会議

- ・全県教育長会議（4/14（月）新潟県自治会館）
- ・関東地区都市教育長協議会総会（5/8（木）～5/9（金）東京都北区）
- ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（5/30（金）長野県長野市）
- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会（5/23（金）三条市）
- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（7/18（金）阿賀野市）
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（10/10（金）柏崎市）